

幌延深地層研究センターの状況

1. 研究坑道掘削工事関係

(1) 作業状況

立坑掘削作業

- ・ 東立坑(掘削深度 380.0m):維持管理
- ・ 換気立坑(掘削深度 380.0m):維持管理
- ・ 西立坑(掘削深度 365.0m):維持管理

水平坑道掘削作業

- ・ 深度 140m調査坑道(掘削長 186.1m):維持管理
- ・ 深度 250m調査坑道(掘削長 190.6m):維持管理
- ・ 深度 350m調査坑道(掘削長 757.1m):維持管理

2. 調査研究関係

(1) 幌延深地層研究計画

ボーリング孔を用いた地下水長期モニタリング

- ・ 水圧モニタリング:継続実施(HDB-2,3,5,6,7,9 孔 PB-V01 孔)

高精度傾斜計を用いた地盤挙動のモニタリング

- ・ 高精度傾斜計による計測:継続実施

深度 140m 調査坑道における調査研究

- ・ 地球化学モニタリング:継続実施
- ・ 水平坑道掘削影響試験:継続実施

深度 250m 調査坑道における調査研究

- ・ 地震観測:継続実施
- ・ 水平坑道掘削影響試験:継続実施

深度 350m 調査坑道における調査研究

- ・ 掘削影響試験:継続実施
- ・ 水圧・水質モニタリング:継続実施
- ・ 水平坑道掘削影響試験:継続実施

光ファイバー式変位計による岩盤変位計測:継続実施

低アルカリ性セメント系材料の施工・影響評価試験:研究終了(3月末)

人工バリア性能確認試験:継続実施

物質移行試験:継続実施

水圧擾乱試験:継続実施

(2) 共同研究

地層の研究に関する研究協力協定(幌延地圏環境研究所):継続実施

地下施設建設時の坑道掘削影響領域の調査技術に関する研究(電中研):継続実施

搬送定置・回収技術の実証的検討に関する研究(原環センター):研究終了(3月末)

地下水中の微量元素と有機物を対象とした地球化学研究(京都大学、東北大学):研究終了(3月末)

地下水中の溶存有機物の分画および特性評価に関する研究(国立環境研究所):研究終了(3月末)

岩盤の水理・化学・生物連成現象に関わる研究(産総研):研究終了(3月末)

海陸連続3次元地質環境モデルの妥当性の検証に向けたデータ取得手法の高度化(産業技術総合研究所):研究終了(3月末)

微生物生態系の地質環境への影響評価に関する研究(東京大学):研究終了(3月末)

堆積軟岩を対象とした力学挙動評価手法に関する研究(東京大学):継続実施
立坑および水平坑道掘削における応力・水連成解析の適用性に関する研究(山口大学・地層科学研究所):研究終了(3月末)

(3) 受託研究

ニアフィールドシステム評価確証技術開発(エネ庁):研究開始

岩盤中地下水流動評価技術高度化開発(エネ庁):研究開始

地層処分施設閉鎖技術確証試験(エネ庁):研究開始

回収可能性技術高度化開発(エネ庁):研究開始

3. その他

・特になし

【今後の予定 (4/4~4/10)】

1. 研究坑道掘削工事関係

(1) 作業状況

立坑掘削作業

・ 東立坑(掘削深度 380.0m):維持管理

・ 換気立坑(掘削深度 380.0m):維持管理

・ 西立坑(掘削深度 365.0m):維持管理

水平坑道掘削作業

・ 深度 140m調査坑道(掘削長 186.1m):維持管理

・ 深度 250m調査坑道(掘削長 190.6m):維持管理

・ 深度 350m調査坑道(掘削長 757.1m):維持管理

2. 調査研究関係

(今後新たに発生する現地調査・現場作業のみ記載、モニタリング関係を除く)

・特になし

3. その他

・特になし

以上